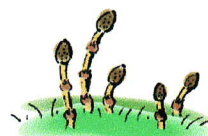


一方通行解除で都営西団地・アパート連合自治会へも協力要請

町会は1月12日、長房郵便局前から北団地方面への一方通行解除を高尾警察署へ申し入れました。引き続き2月29日、北団地の小川自治会長にも高尾警察署へ同行していただきました。小川会長は「北団地が移転する以上、自治会として一方通行に固執するつもりはない。船田町会の永年の懸案を実現して下さい」と表明しました。このなかで交通規制課は「北団地の意向は理解した。解除するには周辺住民にあたる都営団地の了解も必要だ」と再度の指導がありました。

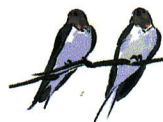
町会は3月4日、都営西団地連合自治会(植松 昭会長)と都営西アパート連合自治会(西山典明会長)に理解と協力を要請しました。その後、両連合自治会は「船田町会が一方通行解除の協力を求めている。交通量が大幅に変化する要素は少ないので、要望に応えたい。ご意見があれば3月31日までに自治会へ連絡を」という文書を掲示板に一齐に貼りだしていただきました。

地域配備消火器の設置を希望する方はいませんか



町会では昨年、火災等の有事に備え、街頭消火器の配備について協力を求めてきましたが、残念ながら希望者はゼロでした。新年度を間近に控え、町会では再度希望者を募ることにしました。現在、町会内には5箇所に設置されていますが、新たに制定された配備要綱によればあと5台は可能です。設置箇所は地震による倒壊の影響を受けない箇所、道路に面し目立ちやすく使いやすい場所、通行その他の障害にならないことが前提です。点検は町会役員、消防団が行います。設置を希望する方は役員へご連絡下さい。

町会短信



□子ども育成会の「歓送迎会&餅つき大会」へ200名

3月6日、船田子ども育成会の「歓送迎会&餅つき大会」が行われました。この日は曇り時々雨の予報でしたが幸い降雨もなく、昼頃には気温は16度まで上がりました。歓送迎会では今年小学校に入学する児童が15名、卒業して中学に入る児童が15名、それぞれ抱負を語り合いました。今年は100名近い子どもたちに加え父兄の参加も多く200名近い盛会となりました。餅つきは昨年同様で7臼つきました。豚汁も多めに作りましたが両方共に足りないくらいでした。なお、永年使用してきた餅つきの杵が老朽化し使用に耐えないために町会は2本を新調しました。

□船田会館の法面の境界に枯れ葉落下対策でつつじを植樹

3月11日、朝から冷たい雨が降り冬に戻ったような天候の中、船田会館のつつじの植樹がおこなわれました。会館の法面は傾斜が急なため、道路側に土砂の流出や枯葉の落下に悩まされていましたが、ハタノ木材の寄付によりつつじ70株が植樹されました。なお、柑橘類を20株ほど植樹予定で、寄贈者募集中ですが、すでに八王子市町自連会長の秋間利久さんから10本をはじめ、会員からの申し込みが6本ありました。植樹時期は4月中旬を予定しています。

□北団地集会所及び広場の活用で都市整備局と話し合い

3月11日、北団地集会所においてすでに東京都へ申し入れていた表題の件で西部住宅建設事務所と話し合いが行われました。これには船田町会をはじめ、北団地自治会、長房ジャガーズの代表が8人参加しました。都は「北団地の跡地利用計画は決定していないが、長房交番の北側に広大な公園を確保して、災害時の避難場所にも活用する計画は決定している。どう活用するかは八王子市の都市計画との関連。従って、要請の中身は其中で検討されるべきだ」と考える。跡地計画決定までの限定的な期間の使用については今後検討してみる」との見解でした。なお、北団地は9月で全てが東団地に移転するが、一方通行道路の西側は来年度、東側は再来年度に建物を解体する計画であることが明らかにされました。